

令和3年度 (生田高等) 学校 年間指導計画

教科・科目	芸術・音楽Ⅰ	学年	第1学年	教科書	「音楽之友社」ON!①
		単位数	2単位	副教材	

学習目標	○音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を高める。				
学習方法	○音楽を形づくる要素(リズム・メロディー・ハーモニー)について学び、表現・鑑賞・★楽典:各領域を縦断的に学習する。 *年間を通じてICT利活用を研究推進する				
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	音楽への関心・意欲・態度	音楽に関心をもち、主体的に音楽表現・鑑賞・理論の授業に取り組んでいる。		
	b	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫している。		
	c	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけている。		
	d	鑑賞の能力	音楽史・基本的な楽式について学び、知識理解を深め楽曲のよさや美しさを味わっている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
1	A表現	10	(1)歌唱	・独唱 ・二重唱 ★楽典:反復記号	○	○	○		・歌曲に親しみ、発声を身に付け、歌詞の意味や曲想を理解して、表現を工夫しながら歌うことができる。 ★反復記号について理解している。	①実技テスト ②提出物 ③授業内筆記試験 ④観察
		10	Aリズム	・ボディー・パーカッション ★楽典:リズムと拍子	○	○	○		・基本のビートやリズムを体得し、曲の特徴を感じ取って演奏している。 ★リズムと拍子について理解している。	
	B鑑賞	4	B鑑賞	・音楽史(時代区分)・古代ギリシャからバロックまでの音楽	○			○	・音楽史上の時代区分と、古代ギリシャからバロックまでの音楽について知り、興味をもって鑑賞することができる。	
2	A表現	12	(1)歌唱	・独唱 ・二重唱	○	○	○		・外国語の歌曲に親しみ、歌詞の意味や曲想を理解して、曲にふさわしい発声で、表現を工夫しながら歌うことができる。	①実技テスト ②提出物 ③授業内筆記試験 ④観察
				・混声合唱 ★楽典:音名、音程	○	○	○		・曲にふさわしい発声で、詞の意味を理解し、混声合唱の響きや和声を感じ取りながら、各パートの特徴や役割を理解して歌うことができる。 ★音名、音程について理解している。	
		10	(2)器楽	・キーボード ★楽典:コード・ネーム	○	○	○		・コードの仕組みについて理解し、キーボードで演奏することができる。 ★三和音と和音の機能について理解している。	
	B鑑賞	6	B鑑賞	・古典派から現代までの音楽	○			○	・古典派から現代までの音楽について知り、興味をもって鑑賞することができる。	
3	A表現	10	A器楽	・少人数アンサンブルの実践学習	○	○	○		・発表会に向けて、自分たちにふさわしい楽曲や演奏形態を選び、創意工夫して少人数アンサンブルに取り組むことができる。	①実技テスト ②提出物 ③授業内筆記試験 ④観察
		6	A歌唱	・混声合唱	○	○	○		・曲にふさわしい発声で、詞の意味を理解し、混声合唱の響きや和声を感じ取りながら、各パートの特徴や役割を理解して歌うことができる。	
	B鑑賞	2	B鑑賞	・世界の民族音楽、日本の伝統音楽	○			○	・世界の民族音楽と日本の伝統音楽について知り、興味をもって鑑賞することができる。	